



運営協議会だより No. 7

平成 26 年 12 月 25 日

代表：津吹一晴

校長：赤沼保江

協議委員の皆さんに面接官になっていただきました

11月25日（火）・27日（木）に実施した「3年生の集団面接練習」の様子を報告します

初めての試みで、地域協働学校運営協議会委員の中から6名の方々にご協力いただき、集団面接練習を行いました。運営協議会では協議委員の皆さんに感想と意見を伺いました。抜粋してお知らせします。

○子どもたちは緊張感の中にも意見を伝えようとする姿勢が見受けられ、大変好感を持ちました。みんな総じていい子たちですね。いつも会っている先生を相手にするよりも、初対面の人との面接を経験できたことは貴重な体験になったと思います。

○牛込一中の生徒は優等生が多いなと感じました。受け答えにしても考え方にしても、とてもしっかりしている。突拍子もない答えはほとんどありませんでした。

○面接官のほうが相当のスキルが必要だと感じました。生徒の答えに対するセカンドクエスチョンがとても重要です。本番ではもっと突っ込んだ質問をされるでしょうから。

○こちらの反省として、評価をするにあたり資料をいただいていたのですが、子どもとの対話の中でなかなか見ている余裕がありませんでした。面接官にもスキルと慣れが必要ですね。

面接官役の協議委員の方からは口々に「勉強になった」という感想をいただきました。次年度以降もさらに内容を充実させていく予定です。



避難所設営訓練が実施されました

12月2日に1年生が参加して行われました。生徒たちの体力のなさに、参加していただいた協議委員の方々からは厳しいご意見をいただきました。



発電機を実際に起動できた生徒は2割ほどでした。先生でもなかなか難しかったようです。

嘆いてばかりもいられないので、今後の展開について活発な意見交換がなされました。

実際に災害が起こったとき、中学生はリーダーとなる大人の手助けができればいいわけですから、今回のような訓練はもっと頻繁に実施して、「見たことがある」「触ったことがある」という体験を積み重ねることが重要だということになりました。

中学生だけではなく大人でもできない人はたくさんいるはずです。この機会にぜひ、地域の防災訓練などを体験してみてください。